

新築
移転

応急診療所

高槻島本夜間休日応急診療所（以下「応急診療所」）が八丁西町に新築移転し、4/1(土)15時から診療を開始します。

夜中に急に熱が出て心配したけど、開いて良かったね

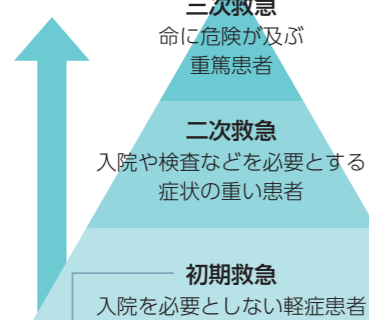
みてくれてありがとうございます



初期救急を担う応急診療所

夜間や休日に、入院を必要としない軽症の患者に対応する医療機関です。

症状・緊急性



救急医療体制と役割

救急医療体制は患者の症状に応じて、初期、二次、三次の段階に分けて役割が決まっています（左図）。応急診療所（初期救急）の受診後、入院や検査などが必要な場合は、二次・三次救急医療機関に受け入れをお願いします。

夜間・休日の受診は応急診療所で

軽症の患者が夜間や休日に地域の病院（主に二次救急医療機関）を受診すると、本来治療を受けなければならない重症の患者の対応に支障がでることもあります。発熱やけがなどの場合は応急診療所をご利用ください。

リニューアルオープン

☎ 099110 問 健康医療政策課 / TEL661-9330

これまでの施設の課題

現在の南芥川町にある施設は、築44年が経過し、課題を抱えていました。

耐震性の不足

現施設は、耐震性に課題がありました。合築の大阪府三島救命救急センターでの診療業務に大きな影響が生じるため、耐震などの工事が困難な状況でした。



現在の施設外観

混み合う待合スペース

年末年始などの感染症流行期には患者数がピークになり、多いときは待合スペースに入らず、入口付近などで長時間待機することがありました。



入口で待機する様子

専用駐車場の不足

応急診療所敷地内の駐車スペースが不足しているため、満車時には入りきれない車両があふれることも課題となっていました。



路上で待機する車両

移転先・診療体制

上記の課題を解消するため新築移転し、4/1(土)からオープンします。



施設の耐震性、駐車スペースを確保

弁天駐車場跡地（八丁西町1-10）に現在の建物の約1.4倍（約1,000㎡）の広さを確保した2階建ての施設を整備。敷地内に50台の駐車スペースを備えるとともに、混雑を緩和するため、診療と会計の待合を分離しました。なお、診療体制・科目、検査体制に変更はありません（詳細は次のページ）。



新しい応急診療所の外観

移転スケジュール

3/26(日)の診療（3/27(月)7:00まで）
南芥川町の現施設を閉院

3/27(月)～31(金)の診療は引越など開院へ向けた準備のため、休診します※

4/1(土)15:00
八丁西町の新施設を開院

※休診期間に救急の場合は下記からご確認ください
●インターネットで「大阪府医療機関情報システム」を検索
●電話で大阪府救急医療情報センター / TEL06-6693-1199
●その他（救急医療相談窓口）
救急安心センターおおさか / TEL#7119、小児救急電話相談 / TEL#8000

新しい応急診療所のココがすごい！ 3つのポイント

1. 感染症エリアを設置

出入口付近で感染症の疑いがあるかどうかヒアリングし、疑いのある患者は、一般の患者と動線を分離した専用エリアに案内します。



感染症患者の出入口



広々とした受付ホール

3. スムーズな駐車機能



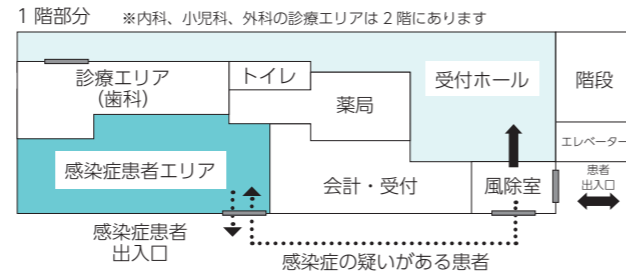
ゲートのない駐車場



救急車両も迅速に出入り可能

ゲートのない駐車システム（カメラ撮影による車番認証）を設置します。渋滞緩和に配慮し、緊急車両のスムーズな出入りも可能になります。

新たな機能・設備を取り入れました！



2. 電子化で早く便利に

リアルタイムの待ち人数をインターネット上で簡単に確認できるシステムを導入。待ち時間を予測できることでストレスなく時間を有効活用できるほか、混雑回避にも役立ちます。

また電子カルテを活用し、受け付けから診察、処方までの一連の流れを効率化させ、スムーズにご案内します。

カルテの電子化で待ち時間を短縮



気になる所を教えてください！ 応急診療所Q&A

皆さんの疑問にお答えします

病院や地域の診療所と何が違うのですか？

A. 夜間や休日だけ、急病やけがの患者に対する応急診療を行っています

応急的な治療となり、薬も原則、1日分の処方となります。翌日以降、再度、かかりつけ医などを受診し、必要な治療、薬の処方を受けてください。

新型コロナへの対応はしていますか？

A. 日曜・祝日の午前、午後※に発熱外来を実施しています

発熱などの有症状の人に対し、新型コロナやインフルエンザの疑いがあると判断した場合、抗原検査を実施しています。

※10:00~12:00、14:00~17:00



予約なしで急に行っても大丈夫ですか？

A. 大丈夫です。基本的に窓口の受付順にご案内しています

夜間や休日でもかかりつけ医が休診のときは、応急診療所にお越しください。受付後、トリアージ（重症度に基づいて治療の優先度を判断すること）を実施し、順次診察をします。

一年間にどのくらいの利用があるのですか？

A. 年間約3万人の利用があります

新型コロナの流行があり、応急診療の受診を控えたという人もいるでしょう。新施設は、多くの方の利用に対応できる施設になっています。夜間や休日の急な発熱やけがには、ご利用ください。



実は元々すごいところ①

365日体制

他の医療機関の休診時間帯を100%カバー

365日体制で内科、小児科、外科（休日は歯科も）を診療し、地域の医療機関の休診時間帯をほぼ100%カバーしています。

夜間から早朝にかけて、小児科を含む初期救急医療を提供している施設は近畿でも数カ所しかありません。



実は元々すごいところ②

小児医療

小児科医の協力のもと充実した体制を確保

全国的に小児科医の確保が困難な中、大阪医科薬科大学や地域の開業医の皆さんから出務の応援を受け、小児医療を提供しています。

なお、小児科は、高槻市や島本町だけでなく、茨木市、摂津市の患者も広域的に受け入れています。



応急診療所の医療体制

診療科目	内科、小児科、外科、歯科
診療時間	平日 21:00~翌7:00 土曜 15:00~翌7:00 日祝 10:00~12:00、14:00~17:00、19:00~翌7:00 ※歯科は日祝10:00~12:00、14:00~17:00だけ ※受け付けは各時間帯の開始30分前~終了30分前
検査体制	血液、尿などの検体検査、生体（超音波・心電図）検査、レントゲン検査
後送体制	入院が必要な患者や重篤な患者は、必要に応じて初療だけ行った後、二次・三次救急医療機関へ転送
その他	広域な小児初期救急医療体制 ※高槻市、茨木市、摂津市、島本町

医療体制はこれまでと変更ありません（左表）。また年末年始や大型連休などでも原則同内容で運営しています。

- かかりつけ医が診療時間外の場合は…
高槻島本夜間休日応急診療所 / Tel.683-9999
- 救急車を呼ぶべきか迷ったとき、
応急診療所の休診期間（3/27月~31金）は…
小児救急電話相談 / Tel.#8000（またはTel.06-6765-3650）
19:00~翌8:00（365日）
- 救急安心センターおおさか
Tel.#7119（またはTel.06-6582-7119）
24時間365日
- 府救急医療情報センター / Tel.06-6693-1199
24時間365日